

平成 30 年度事業報告書

公益財団法人千葉市防災普及公社

第 1 事業の概要

我が国は、地震をはじめとする自然災害が発生しやすい特性を有しており、今年も北海道胆振東部地震や大阪府北部地震などの大地震が続けて発生したほか、九州北部豪雨等の想定できないような災害も発生した。そうしたなか、東日本大震災から 8 年、熊本地震から 3 年が経過し、日本全体で過去の大規模な災害から得られた経験が、今後発生する可能性がある災害に備えるべく防災対策の再構築に活かされてきている。

災害に対する備えは多面的かつ総合的に実践していく必要があるが、公社ではこれまで培ってきた知識や技術等を活かし、より効果的に市民生活の安全と公共の福祉に寄与できるよう「安全で災害に強い千葉市の実現」を目指して事業を展開しているところである。

公益目的事業である「防火防災思想及び応急手当の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業」では、市民の防火防災意識の高揚と地震災害に対する知識や技術の普及について防火防災訓練等を通して効果的に取り組み、事業所の担当者が集まる講習において、消防訓練等に活用いただくよう周知し、平日における防火防災訓練等体験指導の利用者増が図れた。

また、防火管理体制の更なる充実強化を図るため、法令等に基づく講習を実施したほか市内事業所の従業員を対象とした防災実務研修を行った。糸魚川市大規模火災等を踏まえて、飲食店について消火器具を設置しなければならない施設の範囲が拡大される等、初期消火の対策が進んでいることから、どのような防火対象物においてもこの重要性を認識してもらうため、防災実務研修の場を通じ消火要領等の教育に努めた。

救命講習では多くの受講者に実効性の高い救命技術の普及促進に取り組み、応急手当の普及啓発を図ることができた。

収益事業においては、住宅用防災機器や家庭向け防災物品を販売し、災害時の備えとして各種防災用品の普及促進とあわせて老朽化した消火器の回収業務を行った。

第 2 事業内容

1 公益目的事業

(1) 防火防災思想及び応急手当の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業

ア 防災意識の普及及び広報に関する事業

公社が所有している訓練用水消火器や天ぷら油火災実験装置等の資機材を活用したほか、防災普及車による地震体験等の防火防災体験指導を実施し、防災意識の普及に努めた。

また、自主防災会や事業所等をサポートするため、地震や風水害・火災等の防火防災に関する教材（ビデオ・DVD）を購入し充実を図ったほか、防災啓蒙物品を作成、配布し防火防災に関する普及啓発に努めた。

防災意識の高揚と応急手当の啓発を目的としたイベントとして、地域一帯で参加していただけるよう公民館で「地域で守る！防災体験」を実施した。

(7) 防火防災訓練等体験指導

体験指導出向総数 292 件 28,331 人

(単位：回、人)

種別	実施回数	体験者数
消火器取扱要領	67	2,755
天ぷら油発火実験	44	2,839
応急手当要領	20	665
防災講話	38	1,907
地震の仕組み（地震発生実験装置及び液状化実験装置）	250	17,776
地震体験	278	18,350
煙体験	145	10,733
119 番通報体験	17	617

(イ) 防災啓発 DVD 及びビデオの貸出

(単位：件、本)

項目	貸出件数	貸出本数
防災 DVD 及びビデオの貸出	152	298

(ウ) 啓蒙物品の作成・配布

(単位：品目、個)

項目	作成品目数	作成数
啓蒙物品の作成	6	24,600

(エ) 防災イベントの実施

(単位：回、人)

イベント名	実施日・実施場所	参加人数	実施内容
地域で守る！ 防災体験	平成 30 年 10 月 8 日（月・祝） 小中台公民館	30	消火器取扱要領・天ぷら油 発火実験・応急手当要領・ 地震体験・煙体験・防災物 品の展示及び説明等
	平成 31 年 2 月 23 日（土） 幕張西公民館	33	

※平成 30 年 7 月 28 日（土）に予定していた「おやこで学ぶ防災体験」は台風 12 号の接近により中止

イ 行政機関の行う防災施策に対する協力に関する事業

行政機関の要請に応じ、イベント会場等において、防火防災に関するコーナーを設けて防災意識の啓発をした。

また、市民が対応した初期消火活動や救助活動の案件に対し、消防の表彰に合わせて公社から記念品の授与を行った。

その他、異常気象及び地震時等において、関係機関からの要請に応じ対応が図れるよう非常食糧等を整備した。

(7) イベント等への支援協力

(単位：回)

項目	協力回数	支援内容
イベント等への支援協力	18	地震体験・煙体験・応急手当要領・防災物品展示

(4) 市民への表彰に伴う記念品の授与

(単位：件、人)

種別	件数	人数
個人表彰	11	33
団体表彰	6	—

(5) 備蓄食糧の整備

(単位：品目、食、本)

種別	品目数	補充数量
保存食	4	1,030
保存水	1	312

ウ 防火管理体制等の教育指導講習等の事業

(7) 防火管理体制の教育指導講習

消防法に基づく自衛消防組織の統括管理者等を対象とした自衛消防業務講習、防火対象物における防火管理上必要な事項について定期点検及び結果報告をするために必要となる防火対象物点検資格者講習を実施した。

(単位：回、人)

講習名	実施回数	受講者数
自衛消防業務新規講習	14	463
自衛消防業務再講習	6	225
防火対象物点検資格者講習	1	48
防火対象物点検資格者再講習	1	94

(4) 防火管理講習等

消防法で定められた防火対象物において防火管理業務を実施するのに必要な資格を取得するための防火管理講習や防災管理上必要な業務を実施するのに必要な資格を取得するための防災管理講習を実施したほか、千葉市火災予防条例に基づく防火管理者等実務講習及び自衛消防技術講習を実施した。

(単位：回、人)

講習名	実施回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	10	1,452
甲種防火管理再講習	3	444
乙種防火管理講習	4	125
防災管理新規講習	2	171
防火・防災管理新規講習	1	148
防火・防災管理再講習	2	139
防火管理者等実務講習	6	286
自衛消防技術講習	2	39

(ウ) 防災実務研修

災害時における事業所の被害を最小限に止めることができるよう、実務を通して従業員が的確な消火や通報等を習得するための防災実務研修を自主事業として実施した。

(単位：回、人)

研修名	実施回数	受講者数
防災実務研修	8	136

(エ) 防火管理講習等用教材の頒布

(単位：種、冊)

頒布物	種類数	頒布冊数
防火管理講習等用テキスト	5	4,733

エ 応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業

より多くの市民が応急処置の知識と技術を身につけ、誰でも心肺蘇生法をはじめ AED の取扱要領や止血法などの救命処置を適切に図れるよう普及啓発するため、救命講習での指導を行った。

団体の要請に応じ事業所や学校、自治会等へ指導員が出向しており、そのなかで千葉市が子育て支援の一環で力を入れている「小規模保育・家庭的保育・事業所内保育」の従事者を対象とした指導も行った。公募は消防署等の会場において定期的に講習を実施した。

また、短時間で心肺蘇生法と外傷手当を学べる応急手当講習と小さな子供がいる父親や母親を対象としたパパ・ママ救命教室を実施した。

なお、初級救命講習と同等の内容を実施した場合には受講者に対し参加証を交付した。

(7) 救命講習

(単位：回、人)

講習名	区分	実施回数	受講者数
普通救命講習Ⅰ	出向	211	4,259
	公募	95	1,326
普通救命講習Ⅲ	出向	41	1,036
	公募	2	31
応急手当WEB講習	出向	33	648
	公募	15	109
上級救命講習		16	523
上級救命再講習		24	291
初級救命講習参加証の交付（その他救命講習）			535

(イ) 応急手当の普及

(単位：回、人)

講座名	実施回数	参加者数
応急手当講習	3	27
パパ・ママ救命教室	8	104

(ウ) 救命講習等用教材の頒布

(単位：品目、個)

頒布物	種類数	頒布個数
救命講習用教材	2	1,566

2 収益事業

(1) 防災物品等の普及促進に関する事業

住宅防火推進の一環として住宅用防災機器の普及促進に努めるとともに、災害時に役立つ各種防災用品の販売を行った。

また、廃消火器リサイクルシステムの特設窓口として家庭にある古い消火器の回収を行った。

(単位：本、個)

項目	販売・回収数
住宅用消火器の販売	181
小型消火器の回収	188
応急手当処置用品の販売	993
防災物品等の販売	669